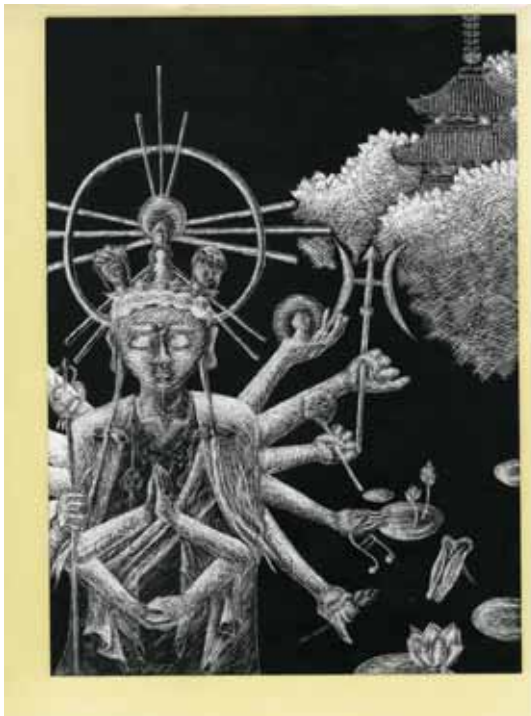


資料13 図書館ネットワークを活用した授業実践（吉田中学校）No. 1

図書資料活用報告書

教科	美術	学年	3年	名前	服部明子
授業内容	スクラッチボードの制作(絵画)～修学旅行の思い出を描こう～				
貸出期間	平成 17 年 5 月 下旬 から 平成 17 年 10 月 下旬 まで				
利用の形態	美術室で、資料として使う。			利用時間数	各6～7時間(8クラス)
希望冊数	15冊				
実際の貸出冊数	15 冊 (中学校図書室 9 冊、吉田町図書館 6 冊)				
内容に関する希望	<p>“国宝”ばかりを借りたが、有名な仏像、建築物でも国宝ではないものもあるので、もっといろいろな資料(京都や奈良に関する書物)があるとよい。</p> <p>庭園に関する本も欲しい。</p> <p>今回は分厚い本ばかりでしたが、ハンドブックになっているような手軽な本も出回っているので、そういう本もいいなと思う。</p>				
授業内容(どんな場面で図書資料を使うか)	<p>資料を鑑賞しながら、京都・奈良の景色や仏像を組み合わせ、切り絵の下書き作りをする。</p> <p>構成する力をつけるための資料として本を活用する。</p>				
図書資料を利用した授業の生徒の様子、授業の感想	<p>国宝というと、とっつきにくいイメージがあるが、今回の資料は写真が大きかったため、見やすく、生徒にとっていろいろと感じるものがあったようだ。「すごい」「力強い」「きれい」「かわいい」など、自分たちなりに見えていた。借りる前よりも本が少々傷んだ感じがするけれど、それだけ生徒がよく見るなど活用していた表れでもある。</p> <p>写真に負けないよう立体感や迫力のある作品づくりに取り組んでいたと思う。このような資料がなかったら、作品もここまでできなかったと思う。</p>				

生徒作品



図書資料を活用することによって、迫力のある力強い作品ができました。



図書館ネットワークを活用した授業実践（吉田中学校） No.2
図書資料活用報告書

教科	理科	学年	3年	名前	中嶋 隆
授業内容	太陽系について調べよう				
貸出期間	平成 18 年 1 月 下旬 から 平成 18 年 2 月 中旬 まで				
利用の形態	図書室での班別調べ学習			利用時間数	3時間
希望冊数	40冊				
実際の貸出冊数	39冊（中学校図書室 27冊、吉田町図書館 12冊）				
内容に関する希望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽系の図鑑 ・ 小学館のシリーズ（小学生向け） ○それほど、くわしくないもの。専門的でないもの。				
授業内容（どんな場面で図書資料を使うか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽系について、疑問に思ったことをレポートにまとめていく。 ・ インターネットと図書資料を使用して調べ学習をしていく。 				
図書資料を利用した授業の生徒の様子、授業の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集中して資料を読むことができた。 ・ 図書資料が多くあるので、生徒たちが選択しやすかった。 ・ 充実したレポート作成ができた。 				

生徒作品

とても集中して授業に取り組み、すばらしいレポートを作りました。自分でまとめることによって、理解が深まりました。また、まとめ方を工夫して見やすい作品を作ろうとする生徒も多く見られました。



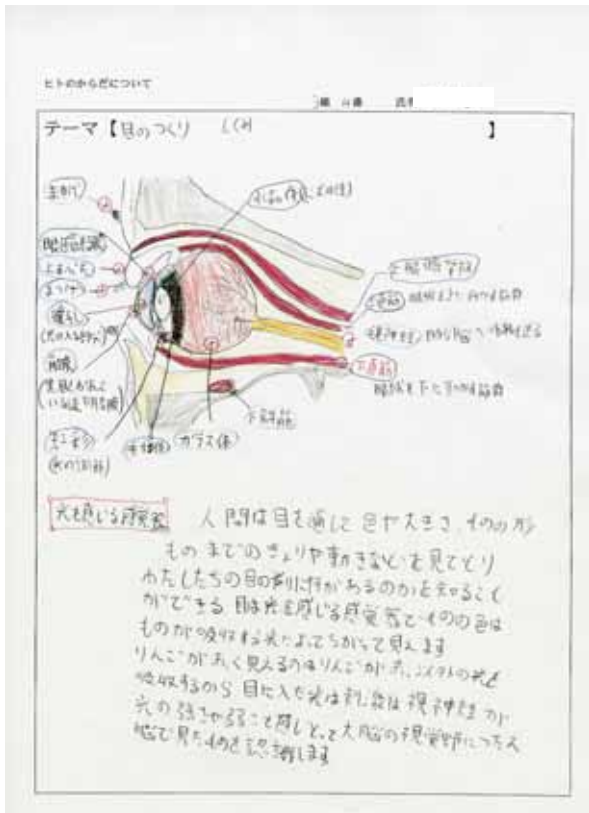
図書館ネットワークを活用した授業実践（吉田中学校） No.3

図書資料活用報告書

教科	理科	学年	2年	名前	村松雅春
授業内容	ヒトのからだのしくみ				
授業で つけたい力	調べたものを分かりやすくまとめる力				
貸出期間	平成 18 年 7 月 3 日 から		平成 18 年 7 月 25 日 まで		
利用の形態	図書室で資料として使う。			利用時間数	各 3時間
希望冊数	100冊				
実際の貸出冊数	161冊（中学校図書室71冊、吉田町図書館50冊、住吉小10冊、自彊小20冊）				
内容に関する希望	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚器官(目、耳、鼻、口、舌など)について ・骨格・筋肉・消化器官・心臓 ・血液・尿 など 				
授業内容（どんな場面で図書資料を使うか）	ヒトの体のしくみを学習する単元の導入として、興味関心のあるテーマを選択し、図書資料を活用して疑問点やびっくりしたことなどを紙面にまとめる。				
図書資料を利用した授業の生徒の様子、授業の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味関心の高い内容について調べたので、よく集中して取り組む生徒が多かった。 ・図を入れて分かりやすくまとめることを目的としたが、全体的な達成度は高かったと思う。 				

生徒作品

図も資料を参考にして、完成度の高いレポートを作り上げました。



図書館ネットワークを活用した授業実践（吉田中学校） No.4

図書資料活用報告書

教科	国語	学年	1年	名前	戸塚
授業内容	矛盾 - 故事成語 -				
授業で つけたい力	矛盾を勉強した生徒が、故事成語に興味をもって、意味・故事を調べ、理解した内容を分かりやすくまとめる力。				
貸出期間	平成 18 年 12 月 1 日 から		平成 18 年 12 月 8 日 まで		
利用の形態	図書室での活用学習			利用時間数	各2時間(4クラス)
希望冊数	20冊				
実際の貸出冊数	32冊 (中学校図書室 32冊)				
内容に関する希望 「漁夫の利」「杞憂」「蛇足」なその故事成語の意味・故事を調べることのできるもの。 ことわざとして載っているものも多いので、ことわざ辞典もよい。					
授業内容（どんな場面で図書資料を使うか） 教科書に載っている「矛盾」という故事成語について、その故事を学習した後、その他の故事成語についても同様に個人で調べて、意味と故事を分かりやすくまとめる。また、実際にどんな場面で使うことができるのかを、用例などを参考にして書く。 調べたものは、相互に紹介し合うため、「人に分かるように」ということを意識して書く。					
図書資料を利用した授業の生徒の様子、授業の感想 積極的に事典を活用して、自分でどんどんまとめている生徒が多かったが、中国の故事は、人名や地名など耳慣れない言葉が多く、自力では理解できない生徒もいた。その生徒には、難しい言葉の意味を調べさせたり、教師がアドバイスしたりして、理解できるようにした。 自分の調べた故事成語については、よく理解しており、友達に分かりやすく紹介しようとする様子が見られた。					



事典に書かれているものをただ写すのではなく、分かりやすく書き換えて、イラストも入れました。

